

放射線療法の提供体制構築に資する研究（21EA1010）

研究分担者 荒尾 晴恵  
大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 教授

**研究要旨**

全国のがん放射線療法看護認定看護師の活動実態を明らかにすることを目的とした調査を実施した。対象となるがん放射線療法看護認定看護師310名に無記名自記式質問紙調査を行い、205名より回答を得た

**A. 研究目的**

質の高い放射線療法を患者に提供するためには、がん放射線療法看護認定看護師の専門的な知識と技術が必要である。しかし、その活動実態は明らかにされていない。そのため、本研究は、がん放射線療法看護認定看護師の看護実践の実態を明らかにすることを目的とした。

**B. 研究方法**

1. 研究デザイン 量的記述研究
2. 対象者

公益社団法人日本看護協会のホームページ <https://www.nurse.or.jp/> に登録のあるがん放射線療法看護認定看護師全数のうち、研究参加に同意が得られた者を対象とした。除外基準は設けなかった。

**3. 調査内容**

調査内容は、基本属性、看護実践の実態、がん放射線療法看護認定看護師間のネットワーク構築のニーズとした。

**4. 調査方法**

無記名自記式質問紙調査を行った。郵送にて依頼を行い、質問紙の返送は郵送法による回収、または、Google フォームを用いた WEB 調査票への入力とした。  
(倫理面への配慮)

研究分担者の所属する施設の倫理審査委員会に申請し、承認後に調査を実施した。

**C. 研究結果**

310名に質問紙を配布したが、2名は所属施設の変更があり返却された。郵送での回答 141名、Google フォームへの入力 64名であり、合計 205名から回答を得た。回収率 66.5%。

**D. 考察**

実態調査の回収率が 66.5%であったことから、がん放射線療法認定看護師の放射線療法看護へのコミットメントの高さが伺えた。

本調査と解析は、令和3年度から4年度の計画である。データを次年度解析し、よりよい放射線診療体制を目指したがん放射線療法看護認定看護師の看護提供体制の在り方を検討する予定である。

**E. 結論**

全国のがん放射線療法看護認定看護師の活動実態調査を実施し、高い回収率で回答を得ることができた。

**G. 研究発表**

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

**H. 知的財産権の出願・登録状況**  
(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし